

巻頭言

第69回日本医学放射線学会総会を開催するにあたって

第69回日本医学放射線学会総会 会長
神戸大学大学院医学研究科内科系講座放射線医学分野 教授
杉村 和朗

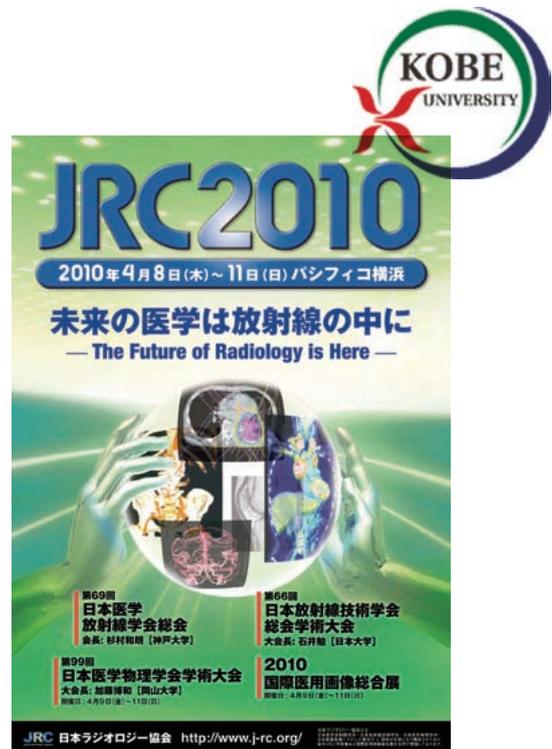


杉村 和朗 先生

2010年4月8日(木)～4月11日(日)の4日間、パシフィコ横浜において、第69回日本医学放射線学会総会を開催いたします。メインテーマは「未来の医学は放射線の中に－ The Future of Radiology is Here －」としました。第66回日本放射線技術学会総会学術大会、第99回日本医学物理学学会学術大会、2010国際医用画像総合展も同時に開催され、今年も2万人を超える参加者が見込まれています。私の前後の世代は、画像診断、放射線治療、IVR共に、医学の発展の中でも類を見ない急速な進歩と共に過ごしてきました。この貴重な経験をもとに、現在の状況を把握しつつ放射線医学の明るい未来を予測して、医学全体の発展を牽引していきたいと願っています。最新の研究データから、放射線科医として必要な情報を得る場として、例年と同様シンポジウム、特別講演、一般講演、教育講演、研修医セミナーなどを用意しております。それでは、多くの方々に横浜でお会いできることを楽しみにしております。

1. はじめに

近年、放射線医療機器の進歩は目覚ましいものがあり、画像診断、放射線治療、インターベンショナルラジオロジー (IVR) 共に、類を見ない急速な発展を遂げてきました。本総会は毎年春に開催される放射線医学全般の学術講演会であり、全国の放射線科医と関連分野の医師および研究者が一堂に会し、多方面から最新の研究成果を発表し、討論する場があります。本総会で発表される研究成果は、多くの臨床科で注目を受けて高く評価されています。医学の



領域では放射線医学の重要性が年々高まっており、本総会が放射線医学の明るい未来を予測して、医学全体の発展を牽引していきたいと願っています。

今総会の主題は“未来の医学は放射線の中に－ The Future of Radiology is Here －”です。私の前後の世代では、放射線医学は医学全体の発展の中でも類を見ない急速な進歩を遂げてきました。この貴重な経験をもとに、現在の状況を把握しつつ放射線医学の明るい未来を予測して、医学全体の発展を牽引していきたいと願っています。

2. 会期ならびに会場

2010年4月8日(木)～4月11日(日)の4日間、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜において、第69回日本医学放射線学会総会を開催いたします。2009年の第68回大会から4日間のプログラムとなっており、日程に余裕を持たすことで、口演、電子ポスター、機器展示、そして情報交換にゆとりを持っていただくことを目指しております。

今回は事前登録を行わないため、参加登録での混雑が予想されることから、受付は会議場では行わず、展示ホールAに十分な広さの登録受付を設けて混雑の緩和を図ります。さらに、プレビューセンターや各学会の受付、CyPos 閲覧会場も設置し、展示ホールAに学会の主な機能を集めることで、参加者にとって少しでも便利な学会を目指したいと考えております。



学術発表	発表
<ul style="list-style-type: none"> 特別講演 シンポジウム CyPos 	<ul style="list-style-type: none"> 教育講演 口述発表 イメージインタープリテーション

学術発表	発表
<ul style="list-style-type: none"> 日本医学放射線学会総会 日本放射線技術学会総会学術大会 日本医学物理学会学術大会 国際医用画像学会 	<ul style="list-style-type: none"> 会議センター 会議センター 会議センター 展示ホール

会場へのご案内

パシフィコ横浜
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
TEL: 045-221-2155

会場スケジュール:
 前日19時: 受付開始
 前日20時: 登録受付開始
 前日21時: 登録受付終了
 当日8時: 受付開始
 当日9時: 登録受付開始
 当日10時: 登録受付終了
 当日11時: 受付開始
 当日12時: 受付終了

JRC 日本ラジオロジー協会
〒104-0052 東京都千代田区神田小塚3-8-5 王子不動産ビル7階
TEL: 03-3338-6111 FAX: 03-3338-6139 URL: http://www.jrc.org

3. 参加登録

今回から参加登録費を12,000円から13,000円に値上げし、2,000円の割引を行っていた事前登録を廃止いたしました。この理由としては、学会の規模が年々大きくなり、開催期間も前回から1日延長したことで会場費が増加したことに加えて、景気の低迷や企業の合併などで寄付金や共催金、広告費など収入の減少が続いており、参加費収入を増やさざるを得ない状況があげられます。さらに、事前登録にはカード決済や参加証の送付などの経費負担も大きく、事前登録を行っている学会は非常に少ない現状を踏まえて、経費削減を図るために事前登録は廃止いたしました。この件については、会員の皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解下さるようお願い申し上げます。

4. プログラム

発表形式は、一般口述発表、CyPos発表、実機展示発表、教育展示の4つに分けられます。昨年まで行われていたCyberRadは、CyPosの機能が充実したことで、CyberRadのかなりの部分はCyPosで代用可能と考えられ、実機展示発表を残すことを条件に、今回から中止することになりました。

また、学会に先立って、「前立腺がん－早期発見からやさしい治療まで－」をテーマとした市民公開講座を、4月3日(土)に兵庫県医師会館で開催いたします。

今回は、日本医学放射線学会、日本放射線技術学会および日本医学物理学会の合同企画として、以下の4つを予定しています。企画1「広がる放射線医学の役割」では、救急医療における放射線医学の役割、専門分化が進む中で重要性が高まっているGeneral Radiology、検診における放射線医学の役割を議論していただきます。企画2「医療経済における放射線医療」では、放射線医学、行政、産業界、医療機関それぞれの立場から、



神戸では学会に先立ち4月3日(土)に市民講座が開催される。テーマは「前立腺がん－早期発見からやさしい治療まで－」

放射線医療についてご発言いただきます。企画3「放射線治療における専門職の役割」では、放射線治療を支え合う医師とコメディカルの役割を議論していただきます。企画4「Autopsy Imagingの将来展望」では、昨年に引き続きこの重要な問題を取り上げます。

日本医学放射線学会の特別企画としては、シンポジウムとして①Molecular Imaging, ②遠隔診断, ③高精度放射線治療, ④肝癌治療, ⑤PET-CT, ⑥小線源治療の6つをテーマとして取り上げます。ワークショップでは、①Functional Imaging, ②Woman's Imaging, ③CAD, ④領域別IVRの4つのテーマを取り上げます。さらに、International Sessionでは、①IVR, ②Neuro-MRI, ③Body Imaging, ④Radiation Oncologyの4項目の現状と将来展望について、米国、ヨーロッパ、アジアから著名なSpeakerに加わっていただき、討論を行います。海外からのSpeakerの方々には、各専門領域の最新の知見や研究内容をご発表いただくために、別途、特別講演を行っていただくようにいたしました。

また、日本医学放射線学会の名誉会員になられたHedvig Hricak, Bernd Hamm, Byung Ihn Choiの3名の先生方に、記念としてHonorary Lectureを行っていただきます。

今回も教育講演は充実した内容になっていますが、学術発表やCyPos閲覧、機器展示などにもご参加いただくよう、初日の午後5時からと、2日目以後の午前8時からに集約し、出来るだけその後の口演発表や特別企画と関連するようなプログラムにいたしました。

また、放射線科医にとって非常に大きな問題であるVDT症候群と、フィルムレスに不可欠なPACSのアンケート報告を、委員会報告として行っていただきます。

この他、肺がんCT検診や大腸仮想内視鏡についての講習会、例年通りのイメージインタープリテーションや研修医セミナーなども開催いたします。

5. おわりに

多忙な毎日を過ごされ、まとまって勉強する時間を持たない会員の方々に、教育講演では日常臨床に役立つ知識の整理を、合同企画では放射線診療のさまざまな役割の検証を、そしてシンポジウムなどの特別企画では最新の知識をリフレッシュしていただき、充実した学会になるよう準備を進めておりますので、多くの方々のご参加を心からお願いする次第です。

